

釧路市優良施工業者表彰

2025年度

究めた技術 精鋭企業に栄誉

まちづくりへの貢献 高く評価

釧路市の2025年度優良施工業者の表彰式が20日、市役所で執り行われた。土木A部門の坂野・沢田特定JVや建築A部門のタカオ工業㈱など6社4JVが受賞。施工体制や施工状況および出来栄、安全に対する取組など現場対応が特に優れていたことを評価し、鶴間秀典市長が受賞各社の功績をたたえた。

表彰は1999年度から。2024年度に完成し建設工事の施工技術や品質、た請負金額100万円以上向上を目的に実施しているの工事の中から、工事成績

が90点以上のものを対象に選考を行った。

本年度は、土木Aの坂野・沢田特定JV、土木Bの㈱釧路厚生社、建築Aのタカオ工業、舗装の東道路㈱が受賞した。

また、電気設備のサンエス・東興・共成・三昭特定JV、管設備の共立・大同・綜合特定JV、水道設

備の㈱共立、塗装の辻元塗工㈱、造園の㈱ヨシタ造園緑化、乙型JVの萬木・東工業乙型特定JVが栄誉に輝いた。

土木C、建築B、建築C、機械設備は該当がなかった。



受賞各社の代表者と鶴間市長（前列中央）



鶴間市長が受賞者に表彰状を手渡した

た。

表彰式では、鶴間市長が受賞各社の代表者に表彰状を授与。鶴間市長は、昨年

9月に発生した道内初の線状降水帯による各種被害に触れ「災害復旧に当たっては、日頃から地域のインフラを支えている地元建設協

会の力が不可欠」と建設業の重要性を強調したほか、建設業における担い手確保や品質向上等に向けた

各種取組について「市としての、地域経済の活性化と建設業界の持続的な発展に向け、皆様と緊密に連携を

図りながら各種取組を進めていく」と意向を示した。

受賞者を代表してあいさつに立ったタカオ工業の池田優社長は「これからも地

域に必要とされる企業であることを目指し、品質・安全・信頼をさらに高め、釧

路のまちづくりに貢献していく」と意気込みを語った。